



前川中だより

教育目標「自学」・「親愛」・「鍛錬」

「MAEKAWA PRIDE」～自信・可能性・誇り～

三郷市立前川中学校 令和5年2月1日(水)

生徒数 1年129名 2年139名 3年139名 特支18名 計425名

「ライバルは昨日の自分」

校長 南 慎一

昨年10月から今年1月の期間で、2・3年生全員と個人面接を予定し、終了することができました。一部の3年生は、受験のための練習として、2回目の面接を実施しました。3年生は、目前に迫った進路決定に向けた試験への緊張感を吐露する生徒が、多かったことが今でも印象に残っています。2年生の面接では、多くの方が、家庭学習等に取組む時間を増やし、学力の向上に繋がっていかねばならないと考えていました。しかしながら、今年1月になってもSNSやインターネット等の利用時間が減らすことができず立ち往生している様子が伝わってきました。

ある意味、進路決定は定員枠を設けた学校への入学のための”他の人との競争”という側面を持っています。入学(入社)には、試験や検査での獲得した点数や中学校時代の様々な取り組みの成果が評価され、合格や内定といったところにたどり着くのでしょうか。試される試験(定期試験も含む)や検査(学力検査等)は、1日程度のもので、人の評価を気にしたり、人と比べたりすることで、自分を見失ってしまいます。その日に至るまでの数百日(数十日)をみなさんは、競争と捉えている人はそんなに多くないはず。毎日の学校での授業や家庭学習への取り組んでいる自分は、誰とも競争していません。《ライバルはあくまでも昨日までの自分です。》

2月は、1年生と2年生にとってはまとめの時、3年生は進路に向けて最後の頑張りの時です。この時期だからこそ、伝えます。是非心に留めてください。

目標にする人は何人いてもいい。でも、周りの人と比べ、焦ったり、落ち込んだり、うらやんだり、逆に思い上がったたりして、自分を大切にできないことほど残念なことはありません。《ライバルはあくまでも昨日までの自分》。自分と向き合って頑張っている皆さんは、それだけで輝いています。

皆さん、残り少ない今年度、精いっぱい頑張れ。

1年生のスキー教室が3年ぶりに実施されました。新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)の流行を受け、実施が危惧されましたが、菅平高原へ行って、無事に全員帰校できたことが何よりの収穫です。スキー教室を成功させるために、話し合い生活のルールや三日間の予定を確認し、予定表を見ながら自分たちの力で行動し、学年の団結力を示すことができました。中学校での宿泊的行事がこのように実施できたのも、日頃より生徒全員を支えていただいた保護者の協力のお陰です。スキー教室を前に、家族全員が外出時での新型コロナウイルス感染拡大防止の実施や不要不急の外出を避けていただく等、適切にご対応いただいたことに深く感謝いたします。

行事を通して学んだ集団としての力をこれからの学校生活(授業での取り組み)に生かしてほしいと願っています。